今、福島ってどうなってるの？

福島をまるっと紹介するリポートマンガ

第8回 日本酒 編

福島第一原子力発電所事故から7年半あまり。私たちの周りにも「福島県産」の果物やお米、野菜などがずいぶん復活してきていることを感じます。でも、この食べ物って本当に安全…？本誌では、「今の福島」の様子をしっかりとリポートしてまいります！

取材・マンガ／おぐらなおみ　文責／レタスクラブ編集部
取材協力／ハイテクプラザ会津若松技術支援センター　渡辺酒造本店

福島の酒 19銘柄が金賞 6年連続 日本一に！

2017酒造年度（2017年7月～2018年6月）の日本酒のできばえを競う全国新酒鑑評会にて、福島の酒の19銘柄が金賞に！ 都道府県別では兵庫県と並び全国最多で、6年連続日本一は史上初。これは、ハイテクプラザなどが酒造りに関する情報を積極的に集めてその技術を蔵元で共有したり、蔵元が酒を持ち寄って利き酒をして検討したりした結果だそう。人のつながりがおいしい酒を生んでいます。

鈴木さんと渡辺さんに聞きました

福島の酒に合う 福島名物のつまみ

鈴木さんの1位は「阿武隈の紅葉漬」。鮭の麹漬けで、日本酒との相性バツグン！ また、会津地方の馬刺しは、醤油にニンニク味噌を溶かして食べるそうで、そちらも絶品とか。渡辺さんは、浜通りから届く魚卵系（筋子、数の子、たらこなど）の「芳醇な味が福島の酒と合う」とのこと。郡山名物の鯉のマリネやカルパッチョ、甘みの強い郡山の曲がりねぎを焼いたものなども合うとか。お酒が進んじゃいそうですね！

東京で、福島の酒を選びたかったらこちら！
日本橋ふくしま館 -MIDETTE-

発見！ふくしま
ふくしまの魅力を伝えるLINE開設
福島県産品があたるアンケートを実施中。第4弾（2018年12月21日～2019年1月20日）は、ふくしまのこだわり満載のカタログギフトが抽選で200名さまにあたります。友だち登録後のご応募で当選確率5倍！
⬅友だち登録はこちら

おぐらなおみ
群馬県出身。マンガ家＆イラストレーター。著書に『こんな息子に母がした』『育児バビデブー』（辰巳出版）。『働きママン１年生』『新 働きママン 谷のぞみ（32）ワーママデビューします！』（小社刊）。最新刊は、『母娘問題 オトナの親子』（中央公論新社）。

TEPCO 東京電力グループは福島の復興に取り組んでまいります。